

教育委員会会議録（1月定例会）

日 時

平成29年1月27日（金）
午後3時00分から午後3時55分まで

場 所

教育プラザ ギャラリーB室

出席委員

教育長	中山 俊恵
教育長職務代理者	森嶋 鎮一郎
委 員	上村 由美
委 員	朝日 華子
委 員	中村 雅利

委員以外の出席者

教育部長	鈴木 透
総務課長	清水 透
学校施設課長	関根 博之
学校施設課課長（新調理場建設担当）	佐藤 行男
学務課長	内山 信弘
学務課課長	木下 俊雄
生涯学習課長	飯塚 優
スポーツ振興課長	志藤 忠博
新体育館建設課長	千葉 忠好
指導課長	川崎 恭子
指導課課長	佐川 章子
郷土博物館課長	助川 正則
記念図書館長（兼）視聴覚センター所長	鈴木 士郎
教育研究所長	勝間田 忠彦
宮田調理場長	荒川 敏明
総務課副参事（兼）庶務係長	中村 大介
総務課課長補佐（兼）計画財務係長	酒地 康彦
総務課係長（企画員）	下村 彰彦
総務課主幹	吉野 成実
総務課主事	宇佐美 亮

議 事

報 告

報告第1号 教育委員会12月定例会の会議録について

その他

- (1) インフルエンザ様疾患発生による学級閉鎖の状況について
- (2) 学校評議員会実施報告について
- (3) 児童生徒の表彰等について
- (4) 教育委員会関連行事等について
 - ア 2017年日立市成人祝の実施報告について
 - イ 「体協主催 日立市池の川さくらアリーナ開館記念事業」について
 - ウ ひたちシネマスペシャル「ウォーナーの謎のリスト」について

会 議 の 概 要

1 開 会

午後3時00分

教 育 長

それでは、只今から、教育委員会1月定例会を開会いたします。
今回から、新教育委員会制度による会議へ移行することに伴いまして、教育長が主宰することとされておりますので、進行役を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

また、昨年12月25日付けで、教育長職務代理者として、森嶋鎮一郎 委員を指名させていただきましたので、御報告いたします。

それでは、まず始めに、昨年12月25日付けで新たに教育委員に就任されました、中村雅利委員から、御挨拶をいただきたいと思っております。

委 員

日立の教育の充実や、子どもたち一人一人の育ちと学びのため、力を尽くしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

教 育 長

どうぞよろしくお願いいたします。
続きまして、傍聴の許可についてです。
本日は、傍聴希望者が3名おります。
傍聴を認めてよろしいでしょうか。

全 委 員

結構です。

(傍聴人入室)

2 報 告

報 告 第 1 号

教育委員会12月定例会の会議録について

教 育 長

それでは、まず、報告第1号について御意見を伺います。
いかがでしょうか。

全 委 員

特にありません。

(本件については原案どおり承認されました。)

教 育 長 なお、今後の教育委員会定例会の会議録の署名者として、森嶋委員を指名いたしますので、よろしくお願いいたします。

3 そ の 他

(1) インフルエンザ様疾患発生による学級閉鎖の状況について

教 育 長 続きまして、その他に移らせていただきます。
その他(1)について、学務課長から説明をお願いします。

学 務 課 長 インフルエンザ様疾患発生による学級閉鎖の状況について、説明します。

平成28年度に学級閉鎖措置を行った学校・幼稚園は、小学校12校、中学校6校、幼稚園1園です。

なお、昨年度は、平成28年1月28日現在、小学校8校、中学校2校でした。

学級閉鎖措置の経過についてですが、11月22日に助川中学校で今季最初の学級閉鎖措置が行われました。

平成28年中は、小学校6校、中学校1校が、29年中は、小学校8校、中学校5校が学級閉鎖を実施しました。

そのうち、4校が学年閉鎖となっています。

幼稚園では、1月25日から27日まで、田尻幼稚園の4歳児学級が学級閉鎖を行っています。

学級閉鎖措置の目安ですが、病気による欠席者が学級、学年、学校全体で20%を超過した場合は、学校医と協議の上で閉鎖を決定します。

また、超えない場合でも、予防のために閉鎖を決定する場合があります。

インフルエンザに感染した場合の出席停止措置ですが、発症した後、発熱した日の翌日を1日目として5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼稚園園児は3日）を経過するまでの期間は、出席停止となります。

教育委員会では、学校に対し、平成28年11月22日に初回の注意喚起を行い、その後3度の注意喚起を行っています。

また、市民に対しては、市及び教育委員会ホームページに学級閉鎖の状況を掲載し、情報提供しています。

参考としまして、現在、茨城県全体に、流行指数10を超えた場合に発令されるインフルエンザ注意報が出ています。

特に竜ヶ崎保健所管内では、12月最終週から今に至るまで、流行指数30を超えた場合に発令されるインフルエンザ警報が出て

います。

なお、日立市における流行指数は、1月第2週現在で9.64となっています。

(2) 学校評議員会実施報告について

教 育 長 それでは次に、その他(2)について、指導課長から説明をお願いします。

指 導 課 長 学校評議員会実施報告について、説明します。

学校評議員会は、学校運営について、多様な意見を幅広く求めるため、平成22年度から市内全市立学校で実施しています。

平成28年度は、幼稚園・認定こども園、小・中学校、特別支援学校において、合計で延べ256人の評議員を委嘱しています。

年間でおおむね学期ごとに1回開催しており、そのうち、1学期と2学期に実施した評議員会において出された主な意見等について報告します。

まず、学校運営については、様々な取組や教員の熱意ある姿勢等により、活力のある教育活動が進められているとの声が多く聞かれました。

次に、授業参観については、ICT機器の活用や、グループでの話し合い活動などにより、子どもが主体的となり、分かりやすい授業づくりに努めていることを評価する意見が多くありました。

また、少数ではありますが、発表の仕方や話の聞き方、鉛筆の持ち方について丁寧に指導すべきとの指摘もありました。

学力向上については、TT・少人数指導などの個に応じた指導がなされていることを評価する声が多くありました。

また、一部の学校では、実生活で活用することを想定した授業づくりが児童生徒の主体的な学びに結び付くとの意見も出されました。

生徒指導については、スマートフォンなどによるSNSの使い方に対する危機感や、いじめ、不登校の問題に対する意見が多く出ています。

防災・安全については、土曜授業を活用し、地域と合同の防災訓練を実施した学校が多くあったこともあり、地域との結び付きが深まったことを評価する意見がありました。

その他、地域全体で子どもを育てることや、校種間での子どもたちの交流や職員同士の協力体制の重要性についての意見も多く出されています。

これらの意見を踏まえ、地域や関係機関との連携、教職員の地域

行事への積極的な参加、園や学校における取組のホームページ等での積極的な公開などについて、学校運営に反映させていきます。

委員 評議員会は、どのような日程で行われているのですか。

指導課長 多くの学校では、午前中に授業参観を行い、給食を食べ、最後に協議するという日程により、1回につき3時間程度実施しています。

評議員会自体は年間で3回程度ですが、評議員には、それ以外にも学校に訪れたり、交流する機会がある方が多いため、日ごろから学校の様子を把握していただいていると感じています。

委員 これだけ多くの意見をいただいていることから、評議員の方々には、頻繁に学校に足を運んでいるのではないかと推測します。

今後とも継続していただき、厳しい意見も含め、積極的に意見をいただくようにしてください。

委員 各学校で、評議員会制度をよく活用しているという印象を受けました。

多くの貴重な意見が出されていますので、教育委員会としても、学校としても、しっかりと対応していかなければならないと思います。

いただいた意見のうち、発表の仕方や話の聞き方、鉛筆の持ち方について丁寧に指導すべきとの指摘がありましたが、特に発表の仕方については、私も気になっているところです。

授業中、先生に指された際、文章ではなく単語で回答する子どもが多いように感じます。

各学校ではどのように指導しており、教育委員会としてはどのような対応をとっているのでしょうか。

指導課長 各学校においては、評議員からいただいた意見を教職員に伝える場を設けています。

その中で、指摘があったもの、例えば発表の仕方については、子どもが単語で回答した場合には文章で言い直させるなど、指導のスキルを教職員全員で共有することなどにより、対応しています。

教育委員会としては、各学校から報告があった評議員からの意見をまとめた上で、指摘があった事項について、指導主事による学校訪問などの機会に、各学校に対応をお願いしています。

委員 校種間での子どもたちの交流や職員同士の協力体制の重要性について指摘する声が多かったということですが、これは、小1プロ

ブLEMや中1ギャップなど、幼稚園から小学校、あるいは小学校から中学校に進学する場合に適応できない子どもがいるという問題について指摘したものだと思います。

各学校では、具体的にどういった交流の仕方をしているのでしょうか。

指導課長 日立市では、各中学校区において、年に数回、区内にある小学校と中学校の教職員が話し合いをする場を設け、それぞれの学校における「決まり」などについて共通理解を図っています。

さらに、校種間で教員がお互いに授業参観をしたり、中学校の教員が小学6年生に対し出前授業を行ったりするなど、小学校から中学校に進学する際のつながりがスムーズなものとなるように努めています。

また、小1プロブレムの対策としては、就学前の子どもに対するアプローチカリキュラムや、小学1年生に対するスタートカリキュラムなど、特別なカリキュラムを実施しているところです。

教育研究所長 小1プロブレムの解消のためには、必要なことが3点あると考えています。

1点目は、学区内の小学校と幼稚園の、自発的な授業参観や情報交換などの交流です。

定期的に、あるいは必要に応じ、そういった交流を深めていくことが大切となりますので、各学校に対する研修会等において、その重要性を示しているところです。

2点目は、子どもたちの交流です。

以前は、異年齢の子どもたちが遊ぶという状況がよく見られましたが、現在はそれがあまり見られません。

そういった社会的な状況が変化していることもあり、小1プロブレムが増えているのではないかと考えております。

それを解消するために、小学校と学区内の幼稚園の連携により、小学校への体験入学を実施しているところが多くなっています。

体験入学では、幼稚園児が小学1年生と一緒に遊んだり、教室で学習したり、給食を食べたりして、交流を図っています。

今後とも、そういった連携が定期的に、より多く実施されるように支援を続けていきたいと考えております。

3点目は、職員同士の交流です。

小学校と幼稚園の連携や情報交換を行うためには、職員同士の交流が必要不可欠です。

教育研究所では、昨年度、市内の幼稚園、保育園、小学校の代表者を一堂に集めた研修会を開催し、保幼小連携の重要性についての講義を行うとともに、情報交換の時間を設け、職員同士の交流の促

進を図りました。

さらに、小1プロブレムの対策として、平成27年3月に「保幼小連携ハンドブック」を作成し、市内の小学校、幼稚園等に配布しています。

内容としては、アプローチカリキュラムやスタートカリキュラムの実施方法等について、具体例を盛り込みながら示しています。

アプローチカリキュラムとは、就学前の子どもを小学校に滑らかに接続できるようにするための、幼稚園等における指導計画です。

スタートカリキュラムとは、小学校に入学後、小1プロブレムが発生しないように、学校が配慮すべき視点により作成する指導計画です。

この冊子を活用し、少しでも小1プロブレムが解消されるように、学校、幼稚園を支援していきたいと思えます。

委員 情報モラルの問題について多く意見が出されているようですが、最近では、小学生であっても、スマートフォンを持っていたり、親のスマートフォンを使ったりしています。

そういった問題に対して、日立市では具体的にどのような取組をされていますか。

指導課長 SNSに関するトラブルは、実際に本市の学校でも発生しております。

各学校では、おおむね小学校高学年と中学校で1回ずつ、県やN T Tなどから講師を招き、講話を実施しています。

その対象に、子どもだけではなく保護者も含めるなど、情報モラルの問題に対する危機感を持っていただけるよう、啓発しているところでは。

また、一昨年には、教育長と警察署長との連名によるチラシを作成し、配布しています。

さらに、中学校の生徒会が中心となって行っている「いじめ撲滅運動」の一環として、SNSなどに関する決まり事を作っている学校もあります。

(3) 児童生徒の表彰等について

教育長 それでは次に、その他(3)について、指導課長から説明をお願いします。

指導課長 児童生徒の表彰等について、説明します。

1点目は、第17回環境美化教育優良校等表彰事業です。

助川中学校が、全国から選ばれた40校のうち6校が受賞する優秀校に選ばれました。

これは、生徒会が中心となって、登校時に通学路のごみ拾いを行う「ごみゼロ作戦」を10年、ひたち国際大道芸でのごみ拾い等のボランティアを11年、会瀬海岸清掃を18年続けてきたことが評価されたものです。

日立市では、同様の活動を行っている学校もありますので、今後、それらの学校についても推薦していきたいと考えています。

2点目は、平成28年度茨城県学校給食優良学校表彰です。

宮田小学校が、平成25年度から平成27年度まで、県から学校給食研究推進校として指定され、その研究成果等が認められたため、優良学校として表彰を受けます。

なお、優良学校は、県内で2校が選ばれるものです。

3点目は、平成28年度体力づくり関係表彰です。

体力づくり優秀賞として、会瀬小学校、大沼小学校、豊浦小学校、河原子中学校、豊浦中学校、日立一高附属中学校が、それぞれ選ばれました。

優秀賞は、5月に実施された体力テストの結果が、県内において優秀であった学校が選ばれる賞で、特に大沼小学校は、6年連続での受賞となります。

また、中里小学校は、昨年度と比べ体力テストの結果が大幅に向上したことから、体力づくり奨励賞を受賞しました。

4点目は、第12回しきなみ子供短歌コンクールです。

宮田小学校4年生の市川 遥さんが、佳作を受賞しました。

コンクールには、全国で64,133点の応募があり、そのうち536点が佳作に選ばれています。

(4) 教育委員会関連行事等について

教 育 長 それでは、教育委員会関連行事等について、説明をお願いします。

ア 2017年日立市成人祝の実施報告について

生涯学習課長 2017年日立市成人祝の実施報告について、説明します。

まず始めに、教育委員の皆様には、成人祝に御臨席いただきましたことについて、改めて御礼申し上げます。

最終的な対象者は、11月1日現在の住民基本台帳登録者が1,917人、登録外の者で、問合せ等により案内状を送付した者が155人、合計2,072人でした。

参加人数は1,566人で、参加率は75.6%と、昨年とほぼ同率となっています。

また、今回は、中学校の恩師である先生にも案内をし、35人の方に御臨席いただきました。

式典後のアトラクションは、実行委員からは是非実施したいとの希望があったため、当市を活動拠点とするバンドのライブを行いました。パワフルな演奏で、新成人に元気を与えてくれたと感じています。

記念撮影時には若干の雨が降りましたが、事前に警察と打合せを行い、車両等の進入防止に努めたことや、会場周辺に30人を超える警察官がパトロールに当たったことなどから、大きなトラブルもなく、スムーズな進行によって、午後2時30分にはすべての日程を終了することができました。

今後は、出身中学校ごとに撮影した写真を記念品として、出席者に送付する予定です。

委 員 成人祝の参加率について、県内の他市町村ではどのような状況となっていますか。

生涯学習課長 今年度の県内各市町村の参加率については、現在集計中となっておりますので、昨年度の参加率を報告します。

県全体の参加率は、74.5%です。

そのうち、参加率が一番高い大子町が89.6%、一番低いつくば市が60.6%となっています。

日立市の昨年度の参加率が75.5%ですので、県平均を若干上回っているという状況です。

今年度も、同様の状況ではないかと推測しています。

イ 「体協主催 日立市池の川さくらアリーナ開館記念事業」について

スポーツ振興課長 説明に先立ちまして、先日21日に開館しましたアリーナの現状について、報告します。

先月の教育委員会定例会で御案内しました、無料でスポーツを体験できる「わくわく体験ウィーク」を、1月25日から1月31日まで実施しています。

初日の25日には、スポーツ体験が130人、トレーニング機器体験が160人、見学者が200人、合計400人弱の方々に来場いただきました。

それでは、日立市体育協会が主催する「池の川さくらアリーナ開館記念イベント」について、説明します。

期日は、平成29年2月18日（土）、会場は池の川さくらアリーナをメインとし、市民運動公園で実施されます。

イベントの内容は、大きく分けて3つあります

1つ目は、開館記念と冠した、オリンピックに出場経験のある4人のバレーボール選手とのトークショーや、日本体育大学生による新体操、大洗高校マーチングバンドの演技などの各種イベントです。

2つ目は、ふら・スポフェスタです。

この事業は、昨年、市民運動公園の工事の都合により実施できませんでした、体育の日の関連事業である「スポ・レクフェア」の名称を変更して実施するものです。茨城国体のデモンストレーション種目のパンポンを始め、様々なスポーツ・レクリエーションを皆様に体験していただく事業です。

3つ目は、こちらも昨年まで実施していた「日立駅伝競走大会」などの事業名を変えた「第1回K I Z U N Aリレーマラソン」です。参加チーム数は、スポーツ少年団駅伝の部93チーム、中学校駅伝の部35チーム、ハーフリレーマラソンの部122チームとなっています。

ウ ひたちシネマスペシャル「ウォーナーの謎のリスト」について

視聴覚センター所長 ひたちシネマスペシャル「ウォーナーの謎のリスト」について、説明します。

平成29年2月26日（日）に、日立シビックセンター2階多用途ホールにおいて開催するもので、午後1時開場、午後1時30分上映開始となります。

作品の内容についてです。

古書店の数が約180店と、世界最大規模を誇る神田古書店街ですが、この街の靖国通り沿いの一画は、第2次世界大戦中空襲を受けませんでした。

そこには、親日家のロシア人セルゲイ・エリセーエフが関与し、マッカーサーに空爆をしないように進言をしたと、作家の司馬遼太郎氏が自書「街道がゆく」の中で書いています。

その真実を追求していくと、同じように文化財を戦禍から救った英雄として称えられているアメリカ人ラングドン・ウォーナーに行き着きました。

ウォーナーは、第2次世界大戦中に、敵国である日本の文化財151か所の保護リストを作成し、それにより日本の多くの貴重な文化財が残されたと言われています。

美術史家のウォーナーが残したかったものは何だったのか。その謎に迫るドキュメンタリー映画です。

なお、ウォーナーは、岡倉天心に師事したことから、北茨城市の

茨城大学五浦近代美術文化研究所内にウォーナーの像が設置されているとのことです。

上映後には、金高監督の講演を予定しています。

また、この上映会に先駆けまして、前日及び当日午前中には、同監督の作品である、東京の中心館としての機能を果たしてきた日比谷図書館の蔵書40万冊が、戦禍を逃れるため奥多摩や埼玉県志木市に疎開をし、大空襲から守られたという実話に基づくドキュメンタリー映画「疎開した40万冊の図書」を、視聴覚センター映像セミナー室において上映します。

4 次回の教育委員会の日程について

教 育 長 それでは、次回の教育委員会の日程について、総務課長からお願いいたします。

総 務 課 長 平成29年2月22日（水）午後1時30分から、日立市教育プラザギャラリーBで開催予定です。

5 閉 会 午後3時55分

教 育 長 それでは、以上をもちまして、教育委員会1月定例会を終了します。

以 上